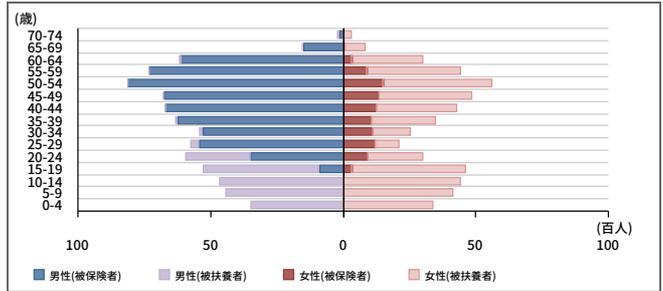


日産自動車健康保険組合 サマリー (第2期 令和5年度)

STEP1 基本情報

組合コード	45197
組合名称	日産自動車健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業
被保険者数	68,059名
* 平均年齢は特例退職被保険者を除く	男性85.8% (平均年齢44.69歳) * 女性14.2% (平均年齢40.66歳) *
特例退職被保険者数	0名
加入者数	129,355名
適用事業所数	60カ所
対象となる拠点数	100カ所
保険料率 (調整を含む)	87%



特定健康診査実施率	(全体) 79.8%	(被保険者) 94.1%	(被扶養者) 50.8%
特定保健指導実施率	(全体) 8.4%	(被保険者) 8.5%	(被扶養者) 7.6%

STEP2 健康課題の抽出

優先すべき課題

質の高いサービス	
カテゴリ: 健康状況, その他	
効果的な保健事業	✓
カテゴリ: 医療費・患者数, 健康状況	
医療費適正化	✓
カテゴリ: 医療費・患者数	
健康経営の支援	
カテゴリ: 生産性	
健保財政の健全化	
カテゴリ: その他	

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

【コスト面】

1. 中長期的に医療費低減に寄与できる保健事業拡大を計画的に実施する。
2. 事業内容等を見直し、外注化等により効率化を図る。
3. 投資対効果を検証しつつ、将来的には世間相場並みの保健事業となるよう事業拡大を図る。

【中期構想を含む事業増強】

1. 第3期特定健診・保健指導の目標完遂を目指し、重点的に事業費を増額する。
2. 若年層（40歳未満）のヘルスリテラシー向上策として節目年齢での人間ドック無償化を実施する。
3. 健康経営を通じた事業所コラボを推進する。
4. FY18では健診代行を導入し、その後健康ポータルサイトの導入を計画する。
5. 医療費適正化活動を引き続き強化する。
6. 計画的に設備更新、改修を実施する。

事業全体の目標

【コスト面】

世間相場並みの保健事業費とし投資対効果の高い保健事業を行う。

【事業の増強】

1. 特定健診受診率90%・保健指導実施率55%を6か年計画で完遂する。
2. 33歳の人間ドック（被保険者・被扶養者）の無償化
3. 健保として健康経営に積極的に取り組む
4. 既存の健診制度を代行業者へ委託する。またICTを用いた健康づくり応援ツールを導入する。
5. 医療費適正化に寄与する事業は継続する。
6. 診療所・直営健診センター・本部事業所・保養所施設ともに計画的な設備更新・改修を実施する。

職場環境の整備

- 1 事業所けんこうレポート
- 2 事業所コラボ活動
- 3 健康経営支援活動
- 4 事業主の会議体への参加
- 5 禁煙活動（1）遠隔禁煙外来
- 6 禁煙活動（2）ノンスモ
- 7 予防接種の実施
- 8 共同システム

加入者への意識づけ

- 1 健康ポータル（pep up）の利用促進
- 2 健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）
- 3 健康作りインセンティブ制度
- 4 健保の情報提供
- 5 機関誌発行（けんぼニュース）
- 6 前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）
- 7 退職に伴うセミナー
- 8 柔整適正化活動
- 9 不適切な受診者へ照会案内送付

個別の事業

- 1 特定健診（被保険者）
- 2 特定健診（被扶養者）
- 3 家族の未健診者フォロー（被扶養者）
- 4 特定保健指導（被保険者）
- 5 特定保健指導（被扶養者）
- 6 医療費削減プロジェクト_前期高齢者対策
- 7 健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）
- 9 保健指導（糖尿病重症化防止活動_診療所）
- 10 生活習慣病健診
- 12 ドック健診

13	がん検診（職場）
14	33歳人間ドックの無料化
18	がん精検受診率
19	歯科健診の促進
20	健康作り支援（スポーツジム契約）
21	オンラインジム
22	シニア体力測定
23	電話相談（健康相談&メンタル相談）
25	育児支援
26	講演会やセミナー開催
27	ジェネリックの利用促進
28	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）
29	利用者の満足度向上（3事業）
30	データヘルス計画推進システムの構築
31	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）
32	健康相談（クリンタル）
33	ポリファーマシー対策
34	重症化予防（入院・再発の未然防止）
36	若年層の健康増進活動
38	データの有効活用
39	セルフメディケーションの推進